

## 産業廃棄物

# 不法投棄 三重が最多

## 08年度 全国で20万ト判明

環境省は15日、2008年度に新たに見つかった産業廃棄物の不法投棄は308件、20万3千トだったと

発表した。件数は前年度より74件減で、記録が残る1995年度以降最少だったが、量は10万1千ト増え

た。環境省は「自治体による監視強化で件数は減少傾向だが、08年度は桑名市で5

万8千ト、菰野町で0・8万トが見つかるなど大規模な不法投棄が4件、計12万5千トあったのが全体量を押し上げた」としている。

種類別では、がれき類や木くずなど建設系廃棄物が最多で224件、17万7千ト。不法投棄の実行者別の最多は、建設業などの「排出事業者」で149件、9万8千トだった。

都道府県別では、桑名市分を含めた三重県の6万8千トが最多。次いで福島県4万4千ト、茨城県3万6千トの順だった。長野県など10都府県は不法投棄がゼロだった。